

平成30年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
国語	古典B	4	3-A(文系)

1. 学習の到達目標

<ul style="list-style-type: none"> ・古典(古文・漢文)を読む能力を身につける ・古典に触れることにより、我が国の伝統と文化・歴史に対する理解を深め、人生を豊かにする態度を身につけるとともに、正しい人権感覚と意識を身につける。
--

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	説話 ・御伽草紙〔一寸法師〕 ・竹取物語〔かぐや姫の昇天〕 随筆 ・徒然草〔丹波に出雲といふ所あり〕 ・方丈記〔行く河の流れ〕	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な不思議な話を読んで、古文の世界に関心を深める。 ・古文と現代文とのつながりについて考えさせる。 ・語彙や文法など、古文読解の基礎を確認させる。 ・作者の感じ方や考え方を知り、中世という時代とのかかわりについて理解を深める。また、当時の人々の生活習慣や思想を学ぶことで、改めて人としての生き方や他者との関わり方を学ぶ。 ・古文の決まりや表現の特色を確かめる。
2 学 期	日記 ・土佐日記〔門出〕 故事成語 ・漁父之利 ・借虎威 ・朝三暮四 物語 ・源氏物語〔桐壺・若紫〕	<ul style="list-style-type: none"> ・日記文学の歴史や特色について理解を深める。 ・各故事成語がどのような歴史的背景から生まれたかを理解させる。 ・今までに学習した文法や敬語表現などの知識を活かして、本文を読解させる。 ・作品に表現された心情や思想について理解させる。
3 学 期	説話 ・沙石集〔児の飴食ひたること〕 ・今昔物語集〔高陽親王のからくり人形〕 ・宇治拾遺物語〔十二の「子」文字〕	<ul style="list-style-type: none"> ・困難に対処する知恵や機転の面白さを味わわせる。 ・鑑賞するだけでなく、自己に置き換えて考えることで古典作品にかかわらせる。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期テスト、提出物、授業態度による
------	-------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	国語や言語文化に対する関心を深め、古典を理解しようと進んで資料を読み探求し、理解したり表現したりしようとする。	古典作品から、そこに描かれた人物、情景、心情について、感じたことや考えたことを文章にまとめたり発表したりする。	話し手や書き手の考えに即して内容を正確にとらえ、自分の考えを深めたり発展させたりしながら話や文章を的確に理解する。	表現や理解に役立つための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、知識を身につける。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	新編 古典B 改訂版 (大修館書店)
副教材	